

令和7年8月10日からの大雨に関する第3回災害対策本部会議 議事録

日時：令和7年8月12日（火）16：00～

会場：県庁防災センター2階

災害対策本部会議室

1 開会

2 議事

(1) 気象解説について

別紙「熊本地方気象台解説資料」により説明（熊本地方気象台）

(2) 庁舎内各部、関係機関からの被害状況・対応状況報告

別紙「各部説明資料」により説明（各部長等）

(3) その他

●内閣府防災

14日の住家被害認定調査の市町村説明会について、内閣府の担当がオンラインで制度説明等を実施する。要望等あれば随時調整等を行うのでよろしく願います。

●NTTドコモ

通信エリア全体への影響は概ねないが、一部で使いづらいつい状況が発生。原因は、基地局の停波によるもの。停波の主な要因は、土砂崩れなどによる光ケーブルの切断や停電による電力供給の停止。

対策として通信事業者、九州電力、県土木部が連携し、インフラ復旧に必要な道路啓開などを優先して実施していただいている。

ここまで官民連携ができていないことは、経験としてない。感謝申し上げる。

●本部長（木村知事）

まず、明日から盆休みに入り家族等が在宅する時間が増えるため、この期間を活かすという発想で取り組んでいただきたい。被災証明書の窓口の設置やボランティアセンターの開設など、既に市町村が進めている取組みを止めないことが重要。

次に、市町村等からのニーズがあった場合、県として動けなくとも業界団体に依頼して動いてもらうこともできるはずなので、各部局で業界団体等と

締結している協定の再確認をお願いします。

健康福祉部の浸水家屋の消毒対策については、場合によっては、建築・建設関係の業界とも連携し、要望があったところから積極的に説明をお願いします。

農林水産部の苗対策チームについては、既に JA 経済連や中央会の会長とも話をしており、ぜひ進めてほしい。各品目ごとに、それぞれのニーズを踏まえ、場合によっては苗ではなく「種」の確保も視野にいて、県境を越えてでもいいのでしっかりと取り組んでほしい。

3 副本部長（亀崎副知事）コメント

対応を進める中で、現状と課題が明確になってきた。各部局は連携を強化し、県民一人ひとりに寄り添った支援を進めることが重要。

孤立集落におけるライフラインの確保に、スピード感をもって取り組んでほしい。各部局の幹部の皆さんには、適切な方向性を職員に示し、リーダーシップを発揮してほしい。体調管理にはくれぐれも注意をお願いします。

4 副本部長（竹内副知事）コメント

国からの特別な財政支援などにも繋がっていくため、被害状況の丁寧な把握をお願いします。県庁ホームページについて、今回の災害に対する特設ページが作成されているが、わかりやすいホームページの作成をお願いします。

5 本部長（知事）コメント

別紙「本部長（知事）コメント」のとおり